

小学校外国語活動に関する調査

まとめ

平成23年1月

初等中等教育局 国際教育課 外国語教育推進室

1 調査の趣旨

平成23年度から完全実施される小学校外国語活動の円滑な実施に向けた現状・課題を把握すること

2 調査時点

平成22年11月調査

3 調査対象

○小学校 215 (広島市立学校を除く)

「調査学校数一覧」で国が示した小学校数を都道府県・政令指定都市教育委員会が無作為に抽出

○市区町村教育委員会 197

抽出した小学校を所管する市区町村教育委員会が回答

○都道府県・政令指定都市教育委員会 65 (広島市を除く)

※ 広島市については、市内全校が特別な教育課程を編成しており、小学校外国語活動を行っていないため、調査からは除いている。

「調査学校数一覧」

番号	都道府県 市名	学校数	番号	都道府県 市名	学校数	番号	都道府県 市名	学校数
1	北海道	5	23	愛知県	5	45	宮崎県	4
2	青森県	4	24	三重県	4	46	鹿児島県	5
3	岩手県	4	25	滋賀県	4	47	沖縄県	4
4	宮城県	4	26	京都府	4	48	札幌市	1
5	秋田県	4	27	大阪府	5	49	仙台市	1
6	山形県	4	28	兵庫県	5	50	さいたま市	1
7	福島県	4	29	奈良県	4	51	千葉市	1
8	茨城県	4	30	和歌山県	4	52	川崎市	1
9	栃木県	4	31	鳥取県	4	53	横浜市	1
10	群馬県	4	32	島根県	4	54	相模原市	1
11	埼玉県	5	33	岡山県	4	55	新潟市	1
12	千葉県	5	34	広島県	4	56	静岡市	1
13	東京都	6	35	山口県	4	57	浜松市	1
14	神奈川県	4	36	徳島県	4	58	名古屋市	1
15	新潟県	4	37	香川県	4	59	京都市	1
16	富山県	4	38	愛媛県	4	60	大阪市	1
17	石川県	4	39	高知県	4	61	堺市	1
18	福井県	4	40	福岡県	4	62	神戸市	1
19	山梨県	4	41	佐賀県	4	63	岡山市	1
20	長野県	4	42	長崎県	4	64	広島市	0
21	岐阜県	4	43	熊本県	4	65	北九州市	1
22	静岡県	4	44	大分県	4	66	福岡市	1

都道府県・政令指定都市教育委員会，市区町村教育委員会，小学校で共通する項目について

(1) 貴都道府県・政令指定都市教育委員会(貴市区町村教育委員会，貴校)は，外国語活動について，平成23年度から円滑に実施する準備が整っていると思いますか。※割合は，小数第二位を四捨五入

都道府県・政令指定都市教育委員会：回答総数65（広島市を除く）

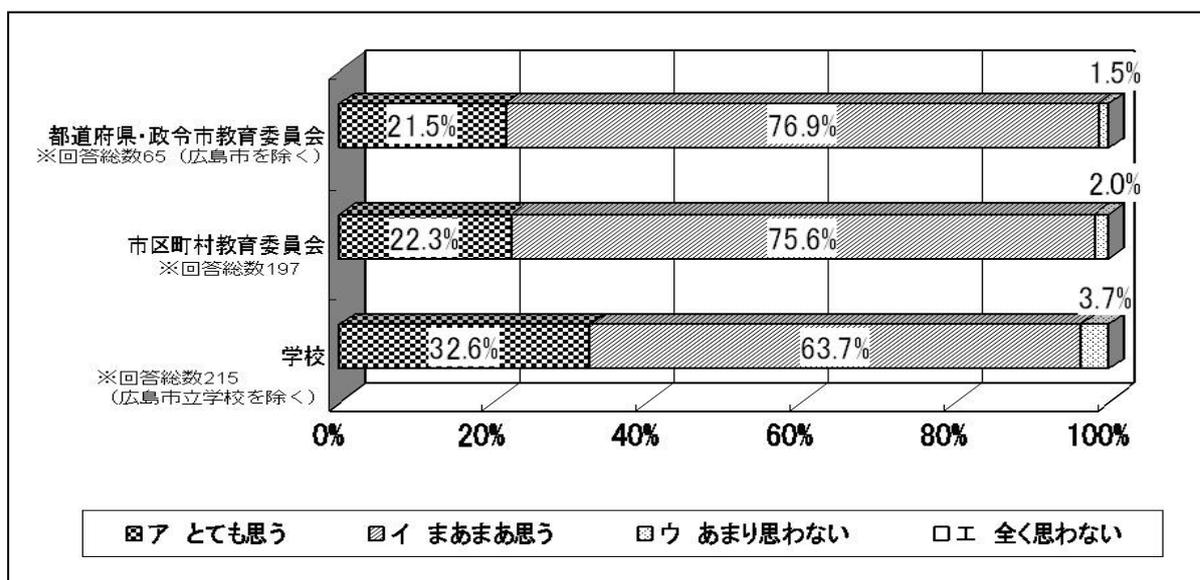
項目	ア とても思う	イ まあまあ思う	ウ あまり思わない	エ 全く思わない
回答数 (都道府県・政令指定都市)	14	50	1	0
割合 (%)	21.5%	76.9%	1.5%	0%

市区町村教育委員会：回答総数197

項目	ア とても思う	イ まあまあ思う	ウ あまり思わない	エ 全く思わない
回答数 (市区町村教委)	44	149	4	0
割合 (%)	22.3%	75.6%	2.0%	0%

小学校：回答数215（広島市立学校を除く）

項目	ア とても思う	イ まあまあ思う	ウ あまり思わない	エ 全く思わない
回答数 (小学校)	70	137	8	0
割合 (%)	32.6%	63.7%	3.7%	0%



(1) -① (1) でうまたはエと回答した方についてお答えください

外国語活動を円滑に実施する上で具体的にどのようなことが必要だと思いますか。(上位3つまで)

※割合は、小数第二位を四捨五入

(都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会)

項目	回答数	割合 (%)
	(ウエと回答した1校のうち)	
ア 小学校教員の英語力や指導力の向上	1	100%
イ 外国語活動専任教員の確保	0	0%
ウ 外国人指導助手 (ALT) の確保	0	0%
エ 英語に堪能な民間人などの確保	0	0%
オ ティームティーチングや少人数指導などきめ細かな指導の実施	0	0%
カ 教員間や外国人指導助手 (ALT) などとの打ち合わせ時間の確保	0	0%
キ 教材・教具等の開発や準備	0	0%
ク 学年に合わせた指導内容の開発	0	0%
ケ 外国語活動の評価の方法の開発	0	0%
コ 中学校との連携の促進	0	0%
サ 外国語活動の内容に関する保護者の理解	0	0%
シ コンピュータなどのICT機器の活用	0	0%
ス その他 (具体的に記入してください)	0	0%

ご回答いただいた選択肢について具体的に記述ください。

アについて ○ 授業の内容や楽しさなど、個々の教員の指導力の差によって左右されていることが課題である。教員自身の外国語活動に対する理解や前向きな姿勢の不足によるところが大きいと思われるが、管理職の理解や校内研修の不足も影響していると思われる。
--

(市区町村教育委員会)

項目	回答数	割合 (%)
	(ウエと回答した4校のうち)	
ア 小学校教員の英語力や指導力の向上	3	75%
イ 外国語活動専任教員の確保	1	25%
ウ 外国人指導助手 (ALT) の確保	4	100%
エ 英語に堪能な民間人などの確保	0	0%
オ ティームティーチングや少人数指導などきめ細かな指導の実施	0	0%
カ 教員間や外国人指導助手 (ALT) などとの打ち合わせ時間の確保	1	25%
キ 教材・教具等の開発や準備	0	0%
ク 学年に合わせた指導内容の開発	1	25%
ケ 外国語活動の評価の方法の開発	1	25%
コ 中学校との連携の促進	1	25%
サ 外国語活動の内容に関する保護者の理解	0	0%
シ コンピュータなどのICT機器の活用	0	0%
ス その他 (具体的に記入してください)	0	0%

ご回答いただいた選択肢について具体的に記述ください。

○ 観点別評価についての研究が必要である。外国人指導助手の配置や雇用形態の見直し等の予算確保が難しい。
○ 児童の活動を有意義なものとして生かしていける指導力の向上。本物のコミュニケーション活

動ができるようにALTがかかわる時間数を充分確保すること。

○ **(アにかかわって)**「外国語活動の指導を実際に行ったことのない教員の不安」や「外国語活動のねらい等について理解が十分でない教員」に対して、各校の中核教員や教育委員会による「具体的な授業がイメージできる研修」の機会を設定して実施することが必要だと思います。

(ウにかかわって) 言語や文化についての体験的な理解、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること、何より子どもたちのコミュニケーション能力や国際感覚の育成に関して、ALTの存在は大きな教育効果があるので、小中連携の点からも中学校校区に1人の配置を目指したいと思います。(現在は財政事情により、3中学校区に2人の配置で、中学校の体育大会や定期テスト期間を中心に小学校5・6年生の各学級に年間3回程度の派遣しかできていない。)

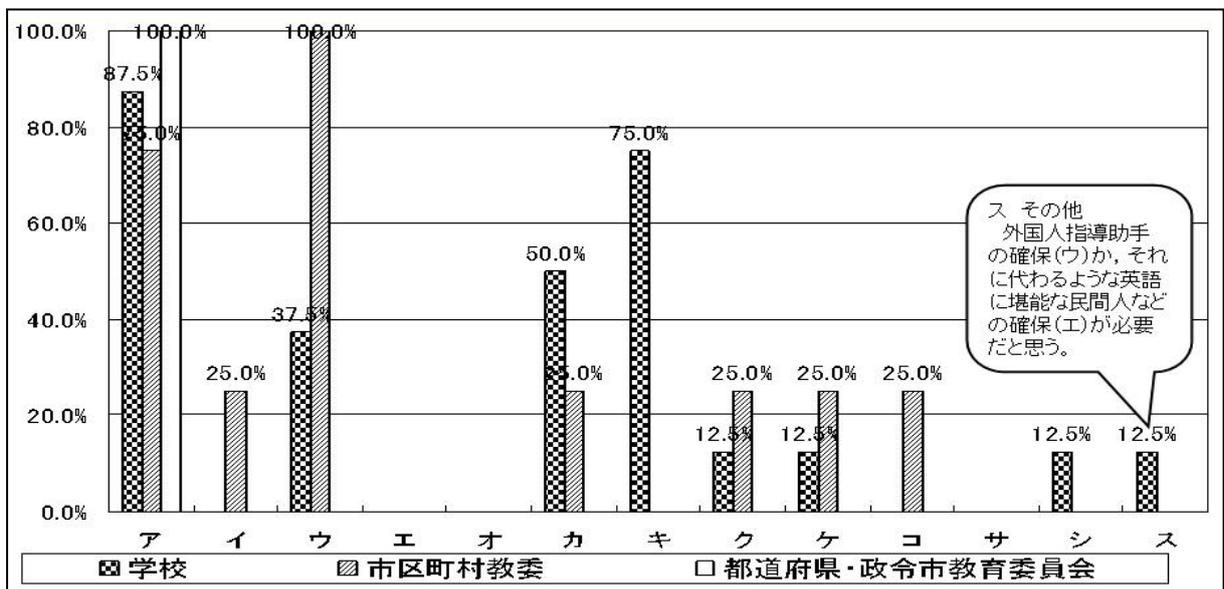
(カにかかわって) 校務の多忙化と勤務時間の縮減により、放課後等の打合せ時間確保が困難な状況にあるため、年間を見通した早めの派遣計画立案と、校長会等を通じた打合せ時間確保に向けた各校の協力体制の構築が必要だと思います。

(小学校)

項目	校数 (校)	割合 (%)
	(ウエと回答した8校のうち)	
ア 小学校教員の英語力や指導力の向上	7校	87.5%
イ 外国語活動専任教員の確保	0校	0%
ウ 外国人指導助手 (ALT) の確保	3校	37.5%
エ 英語に堪能な民間人などの確保	0校	0%
オ ティームティーチングや少人数指導などきめ細かな指導の実施	0校	0%
カ 教員間や外国人指導助手 (ALT) などとの打ち合わせ時間の確保	4校	50.0%
キ 教材・教具等の開発や準備	6校	75.0%
ク 学年に合わせた指導内容の開発	1校	12.5%
ケ 外国語活動の評価の方法の開発	1校	12.5%
コ 中学校との連携の促進	0校	0%
サ 外国語活動の内容に関する保護者の理解	0校	0%
シ コンピュータなどの ICT 機器の活用	1校	12.5%
ス その他	1校	12.5%

(具体的に記入してください)

○ 外国人指導助手の確保 (ウ) か、それに代わるような英語に堪能な民間人などの確保 (エ) が必要だと思う。



- (2) 貴都道府県・政令指定都市（市区町村教育委員会）所管の小学校において、外国語活動を円滑に実施する準備が整っていると「あまり思わない」、「全く思わない」と回答しているところがある場合、貴都道府県・政令指定都市教育委員会（市区町村教育委員会）としてどのような対応をとっていますか、もしくはとる予定ですか。具体的に記入願います。（自由記述）

（都道府県・政令市教育委員会）

- 各教育事務所の指導主事学校訪問等の際に各学校の実態を把握し、適切な指導・助言を行い、悩み・不安の解消を図る。
- 当該の学校を所管する教育委員会は、管下に文部科学省の外国語活動に関する事業の指定校があり、この学校を中核として推進にあたっている。この教育委員会の取組みを教育事務所を通じて支援すること等により対応にあたりたい。
- 県立の小学校はありません。市町村立小学校については、各地域を会場に、希望・推薦による研修会を行っており、来年度以降も希望研修を継続する予定です。併せて全職員で外国語活動に取り組むよう管理職にも働きかけを行います。
- 平成20～21年度の中核教員研修に続き、22年度も全県の小学校教員を対象に研修会を実施。研修会は次年度（平成23年度）も継続するよう折衝中。また、指導主事等を校内研修の指導者として、積極的に学校に派遣。（平成21～22年度）
- 本年度最終となる2月の中核教員研修会開催にあたり、本格実施に向けての各校の課題を事前に把握し、課題解決のきっかけとなるような研修内容を準備する。さらに、平成23年度は県内9つの小学校を授業公開会場とし、全小学校の代表教員を対象とした「外国語活動授業実践研修」を行う予定である。
- 所管の教育委員会に対して、指導や支援を依頼する。本県の外国語活動にかかる実践研究校の研究協議会への参加を呼びかける。上記実践研究校が作成した指導計画、教材・教具を参考例として紹介する。
- 各学校における研修の支援を予定している。
- 1月中旬までに、個々の教員の指導力を向上させるための校内研修の在り方について、外国語活動担当者に対して指導する。また、外国語活動全面実施前に、理解、把握しておくべき内容について、全職員を対象に校内にて伝達するよう指導する。確実に、伝達及び研修が実施されるよう、22年度末に実施日や実施内容についてアンケートを用いて確認し、未実施の学校には直接指導をする予定である。
- 総合学習センター主催の研修の充実、各校からの要請に応じて、毎週月曜日にALTと担当指導主事が学校に赴き、外国語活動の模擬授業や外国語活動の趣旨等について研修を実施、教材、指導案をはじめとする指導資料の提供。

（市区町村教育委員会）

- 本市では、平成20、21年度と文部科学省の研究指定校となった小学校があり、その研究の成果を活かしながら、外国語活動の推進にあたりるとともに、毎年、小学校1校に市内の小学校教員を集め、外国語活動に関する研修会を実施している。こうしたことを継続し、管下各小学校での研修が充実するよう取組みたい。
- 小学校外国語活動に関する研修会を行った。内容は、実際の授業の展開の仕方や、授業で使えるゲーム・歌・チャンツなどの実技を中心に行った。各校参加の悉皆研修が3回、その他に希望で参加できる研修の機会を3回設けた。
- 外国語活動担当者と連絡を取り、学校の実情や中核教員が行う校内研修の実施状況を伺う。必要であれば、教委主催の外国語活動研修会等への参加を呼び掛けたり、市で直接雇用しているALTを講師として派遣して校内研修の充実を図ったりする。
- ALTとの打ち合わせが時間的に難しいところは、派遣計画を見直すとともに、打ち合わせの具体的方策を提示していく予定。授業を通して学び合う機会や、意見交流の機会を設ける予定。ALTに対し、HRTとの打ち合わせ方法等の講習をする予定。
- 外国語指導助手（ALT）が居ないので、中学校の外国語教諭と小学校教諭との連携・勉強会等を学校に指導していきたい。

(学校)

(1) -② 1 (1) でウまたはエと回答した方についてお答えください

外国語活動を平成23年度から実施するにあたり、その円滑な実施に向けて学校としてどのような対応をとっていますか、もしくはとる予定ですか。具体的に記入願います。(自由記述)

- 校内研修会の実施 (ICT 機器の操作法・活用法も含む)、近隣の学校の研修会への参加、作成した教材・教具の蓄積と整理
- 研修の場の確保
- 年間指導計画を作成し、どの単元をいつ行うのかを明確にする
- 「英語ノート」が配布されるのかどうか、ALT が配置されるのかどうかによって準備が違ってくると思います。今年度のように「英語ノート」が配布され、ALT が配置されるようならまあ準備は整っていると思います。不確定だったので、「ウ あまり思わない」にしました。文部科学省や県、並びに市教育委員会からの情報を集めたり、他校の取り組みを参考にしたりしながら本校に合った実施方法 (教材開発やALT の生かし方など) を検討していきたいと思っています。
- ALT やそれに代わる人材が配置された中で活用し、それ以外の時間は学級担任単独の授業にならざるを得ないと考えます。教育委員会の主導になることだと思いますが、外国語活動の質を高めていくためにも、ALT もしくはそれに代わる人材の配置をしていただきたいと思います。
- 今後の対応として、年間計画に照らし合わせた教材・教具等の開発や準備。評価の方法の検討。現在、学校応援団として各種教育で応援いただける方を募集しており、その中で英語の堪能な方も募集している。
- 職員研修の充実、指導方法の共通理解を英語力の向上に向けて
- 35 時間中、①担任が主となった ALT の活用、②担任による授業、③ALT が主となった授業の 3 種類の授業形態の確立を予定

小学校用独自の項目について ※広島市を除く ※小数第二位を四捨五入

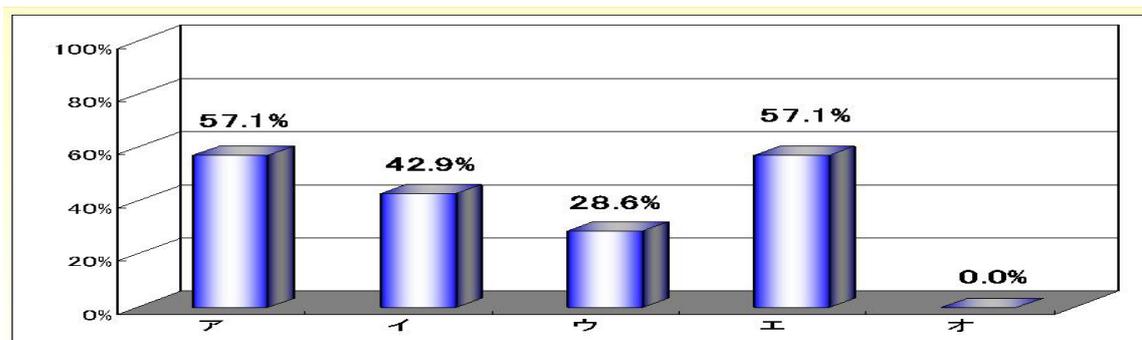
(1) -③ 1 (1) -①で、アと回答した方について、お答えください

小学校教員の指導力の向上について、特にどのような点で課題があると思いますか。(上位2つまで)

項目	校数 (校)	割合 (%)
	(アと回答した7校のうち)	
ア 教員間で効果的な指導方法の工夫について共有されていない	4校	57.1%
イ モデルとなる優れた授業を見る機会が少ない	3校	42.9%
ウ 自分の授業について、外部講師等から指摘を受け、改善する機会が少ない	2校	28.6%
エ 指導方法などについて外部講師等から講演・講話を聞く機会が少ない	4校	57.1%
オ その他	0校	0%

(具体的に記入してください)

- 授業実践する機会をもてない教員が多い。
- 年間指導計画が学年毎にしっかり吟味され、共有化されているとはいえない。指導方法や教材について研究 (ICT機器活用も含めて) が十分ではない。
- 英語教授にそもそも不慣れである。



2 教材

(1) 外国語活動の授業でどのような教材を活用していますか。(複数回答可) ※広島市を除く 小数第二位を四捨五入

項目	校数 (校)	割合 (%)
ア 「英語ノート」	213校	99.1%
イ 学級担任が独自に作成した教材	97校	45.1%
ウ 外国語活動の担当教員が独自に作成した教材	72校	33.5%
エ 校内の外国語活動担当組織等で独自に作成した教材	62校	28.8%
オ ALT等の外部人材、外部機関が作成した教材	129校	60.0%
カ 都道府県教育委員会、市区町村教育委員会等の自治体が作成した教材	36校	16.7%
キ 市販の教材 (具体的な教材名や出版社等を記入)	70校	32.6%
ク その他	11校	5.1%

(具体的な教材名を記入)

【明治図書】 ジョイフル英語カード, ジョイフル英語カードL, 小学校英語活動365日の授業細案

【学研】 英語でビンゴ, 小学校英語活動エキスパートパック, 小学校英語先生の絵カードライブラリ1300

【くもん出版】 英語カード, くもん読み聞かせ英語えほん

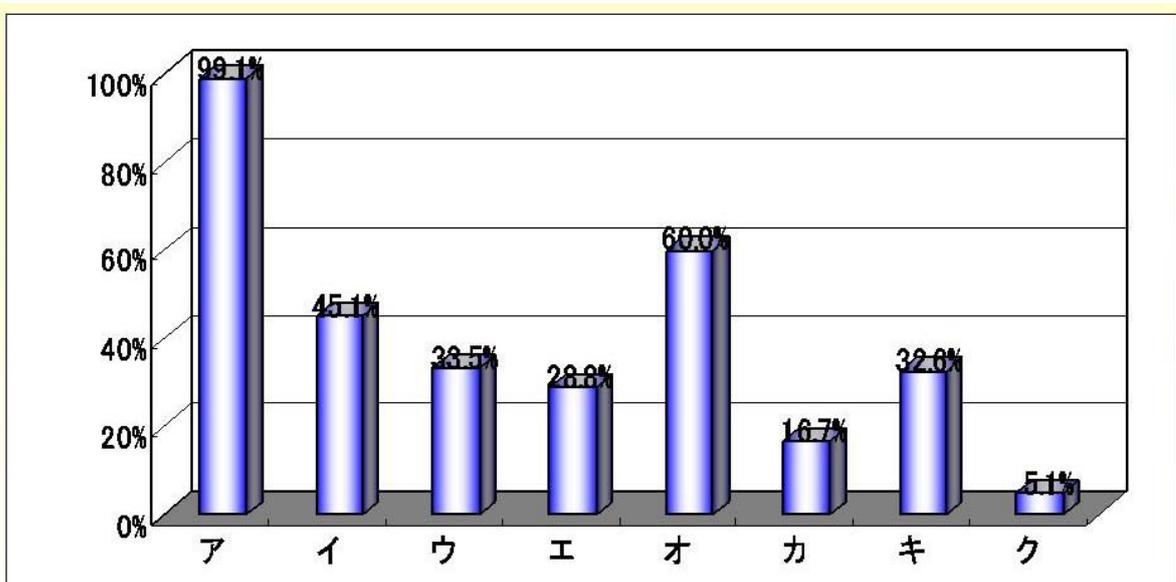
【ブエビスタエンターテイメント】 Disney英語で遊ぼう

【いずみ書房】 えいごリアン

【サ・エデュケーション】 楽しい英語の歌とお話

【開隆堂】 文部科学省英語ノート1・2完全準拠指導資料セット1・2, 授業で使える英語の歌,

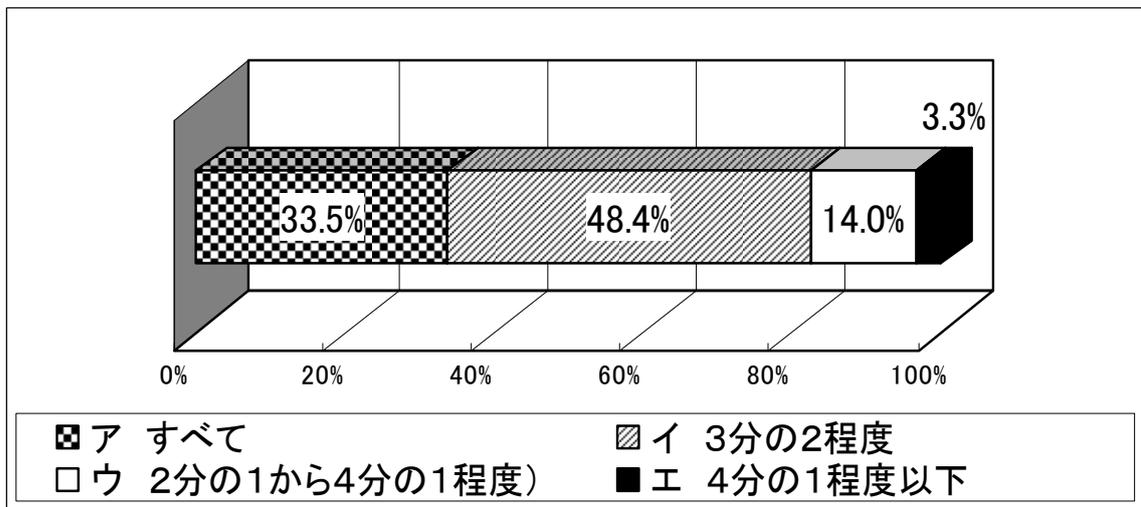
- 英単語あら・かるた, ゆっくり音声CD1, 2
- 【ベネッセコーポレーション】 popper step 1
 - 【三省堂】 キッズクラウン
 - 【新学社】 えいご de ハロー
 - 【文溪堂】 英語と歌の活動アイディア, 50 English songs, 英語絵カード, 英語紙芝居, 英語活動事例集「100」(文溪堂)
 - 【(株)ヒルマ】 英語活動
 - 【ぎょうせい】 「英語ノート」でらくらく授業
 - 【啓林館】 『英語ノート1・2』完全対応指導ハンドブック, 『英語ノート1・2完全準拠指導資料セット』
 - 【ぼーぐなん】 Word Book
 - 【元気イングリッシュ.com】 Genki イングリッシュ
 - 【松香フォニックス研究所】 クイズでチャンツmpi, songs and chants, Hi-Bye English, 英会話たいそう
 - 【NHK】 DVD「えいごリアン」
 - 【アルク】 クラフト集, 英語絵本「声に出すえいご絵本」, 子ども英語BOOKシリーズ6冊
 - 【学校図書(株)】 バナナじゃなくてbananaチャンツ絵本CD付, Song and Chants CD, 英会話体操の本とCD, バナナでチャンツ・クイズでチャンツ
 - 【成美堂】 らくらくピクチャーセット, らくらくペン・大型掛図, 歌って覚えるらくらくイングリッシュ
 - 【株式会社 インタラック】 「生きる力」を育む小学校活動レッスンプラン集
 - 【ウチダ】 えいごまなびとく, 英語スタートカード, えいごリアン, 英語お話し紙芝居
 - 【School Zone Publishing Company】 Go Fish Alphabet
 - 【(株)ミーダイルト】 Twister
 - 【(株)アプリコット】 Let's Sing Together, BIG BOOK, キッズ英語絵本&ビッグブッカー音声CD付きー
 - 【LEARNING RESOURCES】 CURRENCY X-CHANGE ACTIVITY SET
 - 【大日本絵画】 びっくりいろあそび
 - 【ラボ教育センター出版局】 英語&日本語をCDで開ける
 - 【オックスフォード大学出版局】 Magic Time 1教材, CD, ピクチャーカード
 - 【その他】 フラッシュカード類, 担任とALT, 外部人材で共同開発した教材, 英語ノートに準じた絵カードや単語カード, 英語のゲーム, 町内の外国語活動担当で作成した教材, 各種絵本(Lakeshore, APRICOT, RANDOM HOUSE), ALPHABET SOUNDS TEACHING TUBS(LaKeshore), 児童自作のカード(国語との合科で, 児童が作成した外来語カード), フォニックスパペット, ビッグブックセット, 音楽CD, ゆっくり音声CD, 歌っておぼえるらくらくイングリッシュ, Songs and chants など



(1) ① 2(1)で、アと回答した方について、お答えください

英語ノートをどの程度活用していますか。

項目	校数(校)	割合(%)
	(アと回答した学校のうち)	
ア 英語ノートのすべての内容を活用している	72校	33.5%
イ 英語ノートのほとんどの内容を活用している (英語ノートの3分の2程度)	104校	48.4%
ウ 英語ノートのおおよその内容を活用している (英語ノートの2分の1から4分の1程度)	30校	14.0%
エ 英語ノートの内容をほとんど活用していない (英語ノートの4分の1程度以下)	7校	3.3%



(2) 外国語活動の指導に際して、CDやDVDなどの視聴覚教材をどの程度活用していますか。

項目	校数(校)	割合(%)
ア 毎時間、活用している	81校	37.7%
イ ほとんどの時間活用している(3回に2回程度)	84校	39.1%
ウ 時々、活用している(2~4回に1回程度)	44校	20.5%
エ あまり活用していない(学期に1~2回程度)	6校	2.8%
オ ほとんど活用していない(年に1回程度以下)	0校	0%

